

授業科目

基礎作業学実習Ⅱ

科目コード番号

【担当教員名】 榎本郁子・永井洋一・岡村太郎	対象学年	1	対象学科	作業
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【概要】

作業療法の治療的応用のための基礎的な知識と技術を実習体験を通して身につけ、人間の作業行為を生理的、心理的、社会的、文化的側面から考え、学習する能力を身につける

【使用図書】

教科書・参考書等	書名等	著者名	発行所	発行年・価格・その他
教科書	図画工作・美術用具用法辞典	相田盛二	日本文教出版	2001年第2版3204円
参考書	陶芸・やきもの作りの実際 図でわかる電動工具 図解・手織りのすべて その他授業で分析	加藤元男 永雄五十太 村野圭市	マコー社 理工学社 衣生活研究会	
その他配布資料	プリント			

【評価方法】

出席、提出物（作品、レポート、チェックリスト）を総合評価

【履修上の留意点】

提出物の期限厳守

【本科目の一般教育目標：GIO (General Instructional Objective)】

各々の作業行為に関する生物的、心理的、社会的、文化的関係を理解するとともに、作業療法士として基礎作業学実習Ⅰで学んだ陶芸・木工・織物の技術を応用した活用方法を指導できる知識と技術を習得する

【行動目標：SBO (Specific Behavioral Objectives)】

1. 各作業の応用技法を列挙できる
2. 各作業に必要な肯定を説明できる
3. 各作業に必要な用具・材料を列挙し、その使用法を説明できる
4. 各作業に必要な注意事項を列挙できる
5. 各作業の工程毎に必要な技法（術）を体験する
6. 材料・用具を責任持って手入れと管理ができる
7. 自分で作業を指導する時に必要な材料、道具などの購入先、購入方法を説明できる
8. 作品を完成させる
9. 作品の包括的分析ができる
10. 作品作りを通して、制作の喜びを体験する
11. 各作業を通して、生物的、心理的、社会的、文化的関係について自分の意見をまとめて発表できる

授業計画

教室 _____

回数	授業内容	SBO 番号	担当教員	教授学習法	学習課題 又は 備考
1	陶芸・木工・織物応用実習のオリエンテーション				プリント
2 ～ 5	4. 陶芸実技（ろくろ他） 1) 練り 2) 成形 3) 素焼き 4) 施釉 5) 本焼き 6) 仕上げ	1～9	岡村太郎	講義 実習 個人学習	
6 ～ 9	5. 木工実技（応用編） 1) 製図 2) 制作 3) ニス塗り 4) 仕上げ	1～9	永井洋一	講義 実習 個人学習	プリント
10 ～ 13	6. 織物（応用編） 1) デザインと計算 2) 整経 3) 経糸通し 4) 織糸とり 5) 織る 6) 仕上げ	1～9	榎本郁子	講義 実習 個人学習	プリント
14	作品紹介・鑑賞	9～12		グループ討 議	

その他

グループ分けて作業を実施するため、作業内容と回数に変動が有り得る